

たいせい、かわいいね。
なっているのも
わらっているのも
おてもぜんぶかわいいね。
たいせいがおおきくなったら、
いっしょにむしとりをして
あそんであげるよ。
ママ、たいせいをうんでくれて
ありがとう。

西田にしだ
朝陽あさひ（小1）
かほく市

いつも妹いもうとや弟おとういの
お世話せわをしてくれてありがとう。
優しいお兄にいちゃんでかっこいいよ。
朝陽あさひも赤ちゃんあかちゃんの時は
全部ぜんぶちっちゃかったんだよ。
それが立派りっぱな一年生。
大きくなったね。
でもやっぱりママには
全部ぜんぶがかわいいよ。

西田
美紀みき（母）

春から一年生になって

近所に子供がいないから

一人で登校。

一度も振り向かず歩いている。

本当は一緒に歩きたいし、

途中まで車で行こうかと

いつも思うけど、

まっすぐ歩くさなの背中。

毎朝応援しているよ！

松永 裕美(母)

ほんとうはかなしいよ。

ふりむいて、

おかあさんのかお

みたいけど

がんばってあるくよ。

いっしょにいくおともだちはいないけど、

いつもおはようって

いってくれる

やぎさんもいるんだよ。

松永 紗愛(小1 羽咋市)

ぼくのしょうらいのゆめは、

パパのしごとを

手つだうことです。

パパがしごとで

やねにのぼっているのが

かっこいいと思つたからです。

ぼくが大きくなるまで、

けがをしないで

おしごとがんばってください。

恩道

飛龍

(小2)

加賀市)

はい。

飛龍が大きくなるまで、

父ちゃんはがんばるよ。

父ちゃんの仕事は、

高いところに登つたり、あぶない仕事だったりするけど

飛龍ならできるよ。

今は友達と仲良く、

勉強や運動をがんばってね。

手紙ありがとう。

恩道

龍平

(父)

おかあさんあのね、
ぼくがしゅくだいをしているとき、
けいごが
ノートの上に、
トミカをはしらせてくるんだよ。
けいごは、赤ちゃんだし、
かわいいから
ぼくは、おこれないんだ。

竹平たけひら
栄太えいた
(小2 珠洲市)

あら、そうだったのね、
ちっとも気がつかなかったわ
ごめんね。
けいごは栄太のこと
大好きだいすだもんね。
これからは栄太がお勉強べんきょうちゅう中は、
お母さんがけいごを抱だっこしてるよ。
やさしいお兄にいちゃん、
ありがとう。

竹平
佳代かよ
(母)

おじいちゃんへ。
仕事のあいた時間に、
海につれていってくれて

ありがとう。

本当は、とてもいそがしいのに
さそってくれてうれしいよ。

また貝をひろったり、

走ったりしようね。

長生きしてね、大すぎだよ。

大浦 望暉（小3 津幡町）

本当は、すぐにでも遊びたいのに、

仕事が終わるまで、

待っていてくれる望暉は

本当にやさしいね。

あの海は

じいちゃんが子供の頃に、

よく遊んだ場所なので、

いっしょに遊べて、とてもたのしかったよ。

またいこうね。

大家 誠一（祖父）

お母さんは、
メガネをかけているから
目がわるいと思っていました。
でも、ぼくがどこにいても
すぐに見つけてくれます。
どうしてすぐにわかるのか
ふしぎだな。
たぶん、ぼくのこと
いつもお見通しだからかな。

江原 凛人（小4 内灘町）

そうだよ。
お母さんは
凛人のことはいつもお見通しです。
遠くからでも、
背格好やちょっとした動きで
「あれが凛人だな」って
すぐに見つけることができます。
お母さんの一番の特技だよ。

江原 葉月（母）

お母さん、
休校中に

自分でできる事をふやしたくて、

お母さんによるこんでほしくて、

一人でたまごやきを

作れるようになったよ。

形も味も上手にできないけど、

お母さんが、おいしそうに食べてくれて

うれしかったよ。

畑中 美玲（小4 志賀町）

お昼休みに帰って来たら、
卵焼きがテーブルに置かれていて
ビックリ!!

その卵焼きは

ピカピカに輝いていました。

味は入れわすれたみたいだけど。
(笑)

とってもおいしくて、

とってもうれしかったよ。

本当にありがとう。

畑中 美保（母）

なぜ、ばあちゃんの家にあずけられるの？
いつまでなの？

お仕事から帰ったらすぐにシャワーして

マスクして消毒して

まだ足りないの？

コロナのせいで

かんごしさんのママが

大きらいになりそう。

でもわたし、がまんする。

表野 愛佳（小5 かほく市）

ばあちゃん涙出そう。

愛佳が大人になった時

解ってもらえるかな。

ばあちゃんは

コロナから逃げずにがん張っているママを

誇りに思ってるよ。

愛佳にも人間の本当の強い心と

優しい心を知ってほしいです。

早く帰りたいね。

森 ゆみ（祖母）

おふろそうじで貯めたおこづかい。

ゲームではなく、

びっくりプレゼントのためだったとは！

メッセージ付きの包みの中には

老眼鏡が。

おかしくて大笑いしたね。

涙が出たのは

笑いすぎたからではなく

実はうれしかったから。

柳瀬 幸恵(母)

本当は、

ゲームを買うつもりだったけれど、

前にお母さんが、お店で

「このメガネよく見えるわ。」

と言っていたのを思い出したから、

びっくりさせたくて買いました。

これからたくさん

本や新聞が読めるから

よかったね。

柳瀬 聡典(小6 白山市)

ぼくは、ねる前何回も

「おやすみ。」

っていうやろ。

階段上りながら、

ベッド入りながら、

目を閉じながら。

これは、小さいころねるのがこわくて

お母さんの声を聞きたかったから。

それを今でもやっているだよ。

丸川 幹士（小6 金沢市）

えー！知らなかったよ。

毎晩「おやすみ」のやり取りを

何度も繰り返して、

山びこみみたいで

面白いと思ってた。

お母さんの「おやすみ」は、幹士には

「大丈夫だよ」に聞こえるのかな。

グッスリ眠る

魔法の言葉なんだね。

丸川 優（母）

お母さんの読んだ本と
結の読んだ本を交換するの
楽しいね。

でももっと楽しいのが

結の選んだ本を読んでいる時

お母さんの顔だよ。

鼻が赤くて涙目のときもあれば、

笑った顔、怖い顔のときもあるよ。

今は女子高校生？

西口 結(小6) 宝達志水町

ブブブー。

今は、天才外科医。

本を読んでいると、

自分が体験しているみたいだから

顔が変わるのかもね。

後、結達子供は、

よく大人を見ていて分かったよ。

子は親の鏡って言うけれど、

結が素敵になる様がんばるわ。

西口 久美(母)

最近妙にくつついてくるなあ
とおも
と思っていた。

でも気付いたんだ。

お母さんの身長を抜かしたのか
確かめていたんだよね。

そのことに気付いた日、

視線が変わらなくて驚いたわ。

見上げないといけなくなる日、
もうすぐだね。

針谷
祐子
(母)

なあんだ。

お母さん気付いていたんか。

お母さんが気付かないうちに

身長抜かしたかったのに

すげえ悔しいわ。

でも、お母さんの身長抜かしたら

高い所にある物は僕に任せて。

いつでも取ってあげるからさ。

待つとれよ。

針谷
真幸
(中1
加賀市)

僕とけんかした次の日の朝、

「おはよう。」

と言っでご飯を用意してくれてありがとうございます。
弁当をもたせて、

「気をつけて。」

と送り出してくれてありがとう。

自転車をこぎながら、

僕はうれしくて

ペダルを強く踏み込んだよ。

石黒 達也（中1 金沢市）

夕べは、真剣に言い合いをしたね。

本当に頭にきて、

「明日は、弁当なんか作らないから！」

と思っっていたけど、

朝には、気持ちを切り替えられて

よかったよ。

達也には、

一日元気に過ごして

無事に帰ってきて欲しいから。

石黒 ゆり（母）

今、社会はコロナと奮闘中。

私たちが親子は

私のイライラと奮闘中。

母にとってコロナよりも厄介な

強敵になっているのでは？

と思ったりしています。

そんな私（強敵）をいつでも

つぶしてください。

少しは言うことを聞きます。

北田 優奈（中2 川北町）

コロナは怖い。

なぜか強敵の優奈は怖くない。

むしろ、

かわいい。

もっともっと

かかって来い!!

楽しみに両手を広げて待っている。

どうだ!!

北田 知鶴（母）

ありがとうございます。

先輩や先生に言うのは簡単だけど

母さんに向かって言うのは

少し恥ずかしい。

今は思春期だから

思っている事と

逆の言葉を言ってしまうけど

心の中ではいつも感謝しています。

いつもありがとうございます！

桐畑 就一郎(中3) 金沢市

こちらこそ、本当にありがとうございます。

日々、男らしく成長していく就一郎を

頼もしく思っているし、

最近

重い荷物を持ってくれたり、

肩たたきしてくれたり、

助けてくれる優しいところも

大好きです。

いつも応援してるよ。

桐畑 由紀子(母)